

高知市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画(令和3～5年度) 実行計画

「障害の有無にかかわらず、市民一人ひとりが互いに支え合い、いきいきと輝いて暮らせるまちづくり」をめざして

※評価基準の考え方

- A：順調である ⇒ 現在の進捗状況で計画を達成できる
 B：概ね順調である ⇒ 現在の進捗に多少の遅れや課題等はあるが計画を達成できる
 C：あまり順調ではない ⇒ 現在の進捗状況では計画の達成が難しく見直し等が必要

重点施策1 子どもの成長過程に応じた支援体制の強化(体系2-1)

| 必要なこと | 具体的に何をするか | 令和4年度(12月時点)までの実績・取組状況 | 令和4年度の進捗評価 | | 担当 | | | | |
|---|---|--|------------|--------|--------|----|---|---|---------------|
| | | | 評価 | 今後の課題等 | | | | | |
| 関係機関の連携(切れ目ない支援), 障害福祉サービスの充実, 相談窓口や必要な情報の周知, サポートファイルの効果的な活用 | <p>○関係機関の連携(切れ目ない支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 切れ目なく母子の支援が行えるように、医療機関との定期カンファレンスを行う。 一人一人のニーズに応じた支援が継続できるように、複数の関係機関が連携して支援を行う。 <p>○障害者サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの充実を中心に指定障害児相談支援事業所、障害者相談センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の連携を深めるため、意見交換や課題の共有の場を設ける。 <p>○相談窓口や必要な情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に分かりやすい情報の周知や相談窓口を検討する。 <p>○サポートファイル等、情報共有のツールのあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行のサポートファイルを、より活用しやすいものにするため改善点をまとめる。 | <p>○関係機関の連携(切れ目ない支援)</p> <p>①医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関との定期カンファレンスは、高知医療センターと高知大学医学部附属病院の2機関で実施した。 高知医療センターとのカンファレンスは、新型コロナウイルスの院内感染対策として、集合型ではなく電話開催とし、支援が必要な母子の情報共有を行った。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知医療センターとのカンファレンス(毎月) 9回 高知大学医学部附属病院とのカンファレンス(奇数月) 4回 <p>②複数の関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児や入園希望の園児に特別支援にかかわる課題や相談があった場合は、保育所等・子ども発達支援センター・教育研究所・事業所等と連携し支援した。 個別に支援が必要な家庭においては、関係機関が個別ケース会を開催し、情報共有と支援の方向性を話し合った。 特別支援巡回相談を通して、「支援を必要とする子どもと共に育ち合う」という保育の視点を園全体で共有し、子どもの育ちを見守っていけるよう支援した。 就学相談は、特別な支援が必要な子どもで保護者が希望する者について実施し、適切な就学につなげるとともに、個別移行支援計画を就学先へ引き継ぎ、子どもが安心して就学できるようにした。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援巡回相談 <table border="1"> <tr> <td>保育所等</td> <td>88回</td> </tr> <tr> <td>認定こども園</td> <td>3回</td> </tr> </table> 特別支援配置の有無に関わらない相談 7回 就学相談 213件 <p>○障害者サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターによる助言や後方支援については【重点施策2】参照。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所事務連絡会 4回 児童発達支援管理責任者連絡会(児童発達支援・放課後等デイサービスの職員対象) 3回 <p>○相談窓口や必要な情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援の必要なお子さんのための子育て応援ブックである、「ふくふくまっぴ」のR5年5月配布に向け、医療的ケア児支援や災害支援等盛り込み、改定作業中。 <p>○サポートファイル等、情報共有のツールのあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートファイルの小型化や内容の見直し等を検討中。 | 保育所等 | 88回 | 認定こども園 | 3回 | B | <p>○関係機関の連携(切れ目ない支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関係機関が連携し、個別の事例に丁寧に対応していくようにしているが、保育所等の受け入れ体制により、当事者の希望が叶わないことがある。 より良い発達支援を促す福祉サービスが提供できるよう、今後も関係機関の連携体制を継続する。 <p>○相談窓口や必要な情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふくふくまっぴ」の配布先や周知方法等について今後検討をすすめ、必要な情報へのアクセシビリティの向上を目指していく。 <p>○サポートファイル等、情報共有のツールのあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートファイルや情報共有のあり方については、本人・保護者、支援者の負担にならず、効果的に活用できる形となるよう、引き続き検討をすすめしていく。 | 子ども育成課(療育連絡会) |
| 保育所等 | 88回 | | | | | | | | |
| 認定こども園 | 3回 | | | | | | | | |

重点施策2 相談支援体制の充実（体系3-1）

| 【指標・目標】 | 指標名 | 現状 (令和4年12月末時点) | 目標 |
|---------|------------------------------|--------------------|------|
| | 相談支援事業所事務連絡会年間開催回数 | 4回 | 6回 |
| | 障害者相談センター年間開催回数 | 8回 | 12回 |
| | 相談支援検討会年間開催回数 | 8回 | 12回 |
| | 相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数 | 282件 | 400件 |
| | 相談支援事業者の人材育成の支援件数 | 3件 | 10件 |

【進捗状況】

| 必要なこと | 具体的に何をするか | 令和4年度（12月時点）までの実績・取組状況 | 令和4年度の進捗評価 | | 担当 |
|-----------------------|--|--|------------|---|--------|
| | | | 評価 | 今後の課題等 | |
| 相談窓口の周知、関係機関との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を通じて障害のある人や子ども、そのご家族、関係機関等に相談窓口を周知する。 関係機関との連絡調整や会合への出席を通じて連携を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 窓口や電話での相談時に、相談先の周知徹底を行っている。また、高知市ホームページでも掲載中。その他、毎年定期的に開催される各特別支援学校での進路相談会へ参加し、本人や保護者、教職員に対して相談窓口の案内や、必要に応じて「高知市の障害福祉サービス等の利用の手引き」を配布。 各種団体が主催する会合へ積極的に参加し、他機関との連携を深めている。関係機関連携会議23件 | B | 今後も相談会等を通じて、周知徹底を随時行う。 | 障がい福祉課 |
| 質の高いケアマネジメントができる人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ①指定相談支援事業所、障害者相談センターを対象とした研修会等を実施する。 ②指定相談支援事業所、障害者相談センター職員への助言や同行訪問により後方支援を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①毎月開催の相談支援検討会や障害者相談センターにて、研修会や関係機関との意見交換会の内容を検討 ・指定相談支援事業所新任期研修会1回 ・意見交換会1回（就労サービス管理責任者と相談支援専門員）※進路担当の教員と相談支援専門員等はR5.2開催予定 ・指定相談支援事業所研修会1回（重層的支援体制整備事業：高知市地域共生社会推進課） ・指定相談支援事業所対象勉強会1回（成年後見制度と中核機関の機能について：高知市社会福祉協議会） ※障害者虐待防止に関する勉強会を令和5年2月開催予定 ②基幹相談支援センターによる後方支援 ・ケース同行132件、担当者会議出席116件、机上相談34件、合計282件 | B | <ul style="list-style-type: none"> ①今後も検討会やセンター会での研修会や意見交換会を行いながら、関係機関と連携構築の強化を図る。また、相談支援の中で見えてくる課題の把握や人材育成を今後も継続する。 ②地域の相談支援体制を強化するため、引き続き基幹相談支援センターとして後方支援の充実を図る。また、相談しやすい関係性の構築に努める。 | 障がい福祉課 |

重点施策3 地域生活支援サービスの基盤整備（体系3-2）

| 【指標・目標】 | 指標名 | 現状 (令和4年12月末時点) | 目標 |
|---------|------------------------|--------------------|-------|
| | 自立支援協議会の年間開催回数 | 3回 | 4回 |
| | 日中サービス支援型共同生活援助の事業所数 | 4か所 | 3か所以上 |
| | WAMNET、L i c oネットなどの運用 | 実施 | 実施 |

【進捗状況】

| 必要なこと | 具体的に何をするか | 令和4年度（12月時点）までの実績・取組状況 | 令和4年度の進捗評価 | | 担当 |
|----------------------------------|--|--|------------|--|--------|
| | | | 評価 | 今後の課題等 | |
| ニーズに応じた地域生活支援サービスやその質の向上、連携体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ①自立支援協議会にて地域生活支援拠点の継続協議 ②自立支援協議会・検討会等を通じて、専門性のある人材育成・サービスの質の向上、連携体制の整備についての継続協議 ③適正なサービスが選択できるよう、インターネットで事業所の公表制度（WAMNET）の運用 | <ul style="list-style-type: none"> ①自立支援協議会3回開催 ・日中サービス支援型共同生活援助4か所指定（令和4年度2か所増加）。事業者の運営状況を自立支援協議会で報告 ・生活介護事業所の建て替えに対する補助金を支出し、定員増の支援を実施 ②【再掲】相談支援検討会開催8回、就労検討会開催7回、 ③実施済 | A | 日中サービス支援型共同生活援助の指定数は目標値を達成。今後は医療的ケア/強度行動障害等の重度の障害児者に対するサービス基盤整備にも取り組む。 | 障がい福祉課 |

重点施策4 適性に応じた就労と職場定着への支援（体系4-1）

| 【指標・目標】 | 指標名 | 現状 (令和4年12月末時点) | 目標 |
|---------|-----------------------|--------------------|-----|
| | 就労検討会の開催回数 | 7回 | 12回 |
| | 農福連携事例累積数（農福連携研究会把握数） | 41例 | 50例 |

【進捗状況】

| 必要なこと | 具体的に何をするか | 令和4年度（12月時点）までの実績・取組状況 | 令和4年度の進捗評価 | | 担当 |
|------------|--|--|------------|--|--------|
| | | | 評価 | 今後の課題等 | |
| 就労支援の体制づくり | <ul style="list-style-type: none"> ①就労検討会によるサービス管理責任者や新人職員等を対象とした事例検討会や相談支援専門員との合同研修会の開催 ②生活面の支援に特化した勉強会の定期開催 ③企業等への職場定着促進を図るため就労定着支援事業の利用拡大 ④工賃向上に向け、企業等の関係機関との勉強会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ①【再掲】就労サービス管理責任者と相談支援専門員との意見交換会を1回開催 ②就労サービス管理責任者同士の連携や対応能力の向上を目指し、就労検討会委員の在籍する事業所の多い西部、南部ブロックにて少人数での会合を開催し、課題の共有、解決に向けての意見交換実施。西部：4回開催、南部：4回開催 ・西部、南部地区合同の会を2回に開催し、サービス管理責任者と特別支援学校の進路担当教員との意見交換会を計画立案、また、それぞれのブロックで上がった課題等の共有 ③就労定着支援事業報告会を令和5年2月開催予定 ④ティーセントワーク委員との意見交換会の検討 | B | <ul style="list-style-type: none"> ①今後も引き続き取り組む。 ②東部地区、北部地区での開催。 ③就労定着支援事業報告会を定期的に開催し、就職や就労定着の課題の把握・解決方法を深める。 ④ティーセントワーク委員から県と市が似た動きをしているとの指摘があり、県と就労担当との課題共有等を行う。 | 障がい福祉課 |
| 農福連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ①高知市農福連携研究会にて、体制づくりの検討、就農事例の増加 | <ul style="list-style-type: none"> ①高知市農福連携研究会：1回開催し、高知市における農福連携の取り組み方法について検討（第2回は令和5年2月開催予定） ②就労検討会として、農福連携を先駆的に取り組んでいる事業所による報告会を令和5年2月開催予定 | B | <ul style="list-style-type: none"> ①協議を継続し、就農事例の増加を目指す。 ②農福連携実践報告会を定期的に開催し、農福連携の周知を図る。 | 障がい福祉課 |